

## 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では12月1日から3日間、22人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



一問一答方式とは、議員席前の質問席から、執行部に対面して行います。質問の制限時間は40分(答弁は含まない)で、通告した順番の件名ごとに、1回目は総ざらい質問・答弁、2回目から要旨ごとの一問一答で、制限時間内に何回でも質問ができます。

# そとがききたい



▲新年早々、市内の神社では深夜でも初詣の皆さんで長蛇の列

## 2007年以降 団塊の世代の 大量退職者発生への対策は

奥田 実 議員

**議員** ①本市職員の年齢構成を見ると、団塊の世代から10年間の職員で約40%を占めている。その後の行政サービスの低下等を招かないか。また、今後の本市のあり方については、どのように考えているか。

**総務部長** ①過去に大量採用の是正から、採用を控えた結果、いびつな構成になっている。それらを踏まえ、た上で、分権型社会に対応した行政サービスのあり方、民間でできることは民間に任せる等、効率的な体制を築くなど、本市版小さな政府を実現して



▲本市の職員も例外でなく団塊の世代の割合は高い

②中途採用については、年齢構成を是正するには有効と思われるが、一方で、人事管理上の課題もあると考えている。

③定年延長に関しては、制度上の問題がある。再任用制度の活用や、技術の伝承という面からも定年職員の活用には期待を持っている。

④退職手当組合に加入しており、不足を生じることがない。しかし、勤務評定制度の導入等、抑制に努めていきたい。

### 華かいどうを広げるために

**議員** ハンギングバスケットの推進で、花いっぱいのもちにしては。また、そのための講習会なども計画している。

**都市整備部長** 市緑地公社がボランティア活動の中で、駅前などにおいて実施している。その中で、実施できる団体や個人など整えを進めていきたい。すばらしい街並みにするために市民への意識啓発と、実施に向けて取り組んでいきたい。

## 一般質問

### 防災体制の見直しと 新曽地区の公営下水道 整備計画を早期に

伊東 秀浩 議員

**議員** 去る9月4日の集中豪雨は、市内各地に甚大な被害をもたらしたが、これからは、いつ起こるかかわらない局地的な集中豪雨に対し、防災体制の見直しを考えているのか伺いたい。

**都市整備部長** 今回の水害では地域防災計画の風水害対策編に基づき、風水害時の職員活動マニュアルにより対応した。9月4日22時、第一配備体制を引き、最終職員参加数は156名で、市役所に到着次第、順次、浸水防止に当たったが、想定外の雨量のため、対応に大変苦慮した。来年度の地域防災計画全面見直しの中で、早急に防災対策の見直しを図っていきたく考えている。

**議員** 今回の豪雨の降雨強度は1時間当たり71.5ミリで、公共下水道計画を大幅に上回ったことから生じた被害であったと思うが、各地区ごとの今後の対策や上戸田川の整備計画状況はどうなっているのか伺いたい。

**議員** 今回の水害では地域防災計画の風水害対策編に基づき、風水害時の職員活動マニュアルにより対応した。9月4日22時、第一配備体制を引き、最終職員参加数は156名で、市役所に到着次第、順次、浸水防止に当たったが、想定外の雨量のため、対応に大変苦慮した。来年度の地域防災計画全面見直しの中で、早急に防災対策の見直しを図っていきたく考えている。



▲集中豪雨での浸水対策を(平成10年の台風10号時での新曽地区)

**議員** 新曽地区の公共下水道の雨水及び汚水整備計画を、早急に作成すべきと思うが市の考えを伺いたい。

**市長** 本市は下水道普及率100%を目指す計画があつてしかるべき地域にあり、長期間を要する事業であるが、未整備地区ゼロを目指し、積極的に取り組む。新曽地区は平成19年度の事業認可手続に向け、来年度には事業認可に必要な調査費を予算化し、スピード感を持って対応していきたいと考えている。

## 地域防犯対策 身近に感じる民間交番を

平野 進 議員



▲昨年10月に2カ所目の「ふれあい安全ステーション」が開所

**議員** ①民間交番の活動実績と問題点は。②道満バスステーションの活用は。

**議員** ①民間交番の活動実績と問題点は。②道満バスステーションの活用は。

**総務部長** ①町会等のパトロールの支援、防犯相談・診断などを行った。問題点として、警察の交番業務と混ざっている。②地域住民の要望、予算等を踏まえ、検

**議員** ①民間交番の活動実績と問題点は。②道満バスステーションの活用は。

### 団塊の世代対策は

**議員** 市職員の定年後の人生設計づくり、社会参加の助け、地域の受け皿整備、地域社会の帰属意識をスムーズに持てるような仕組み

づくりを、経験や能力を地域貢献に生かす再活用策や支援策を考へるべきである。

**総務部長** 本市の施策でもある「市民とのパートナーシップ」を進めており、退職予定職員は、市町村職員共済組合主催の研修会「退職者へのライフプランづくりセミナー」に参加し、新たな生きがいづくりを目指し、地域社会活動に参加をしていく事を奨励している。

### 荒川処理センター 上部基盤整備対策は

**議員** ①平成15年2月に作成された計画書の県提出以降の進捗状況は。②笹目、美女木地区環境対策協議会への意見集約は。③市の今後の具体的な方向性は。④桜つづみモデル事業は。

**都市整備部長** ①基本的事項を内容とした協定書の締結に向け、県と協議中である。②地域の皆様方の意見集約の機会は調整しながら設ける。③当該計画書を基本として進めていく。④関係機関と協議をしていく。

※：ハンギングバスケット＝壁掛けや吊り下げタイプの鉢植えで、門扉や塀などを有効利用した空中花壇